



荻の里

黒部市立荻生小学校

学校だより 7 号

平成 30 年 10 月 17 日

目指す子供の姿 **や**さしく **か**しこく **た**くましく

充実の秋を迎えて ー地域の人や物と関わってー

校長 高岡 薫

今から 144 年前に荻生小学校ができ、学校の誕生日に当たる 9 月 20 日を創校記念日としてお祝いしてきました。1873 年 9 月に学校ができたばかりのときは、『第六大学 第九中学区 第四十三番小学校』という校名でした。そのころ、校舎はなく、地域の方の家を借りて授業を始めました。

それから 4 年ほど経ち、『将就小学校』という校名になりました。『将就』というのは、中国の古い書物の中にある『日に就き、月に将む』という言葉からとられたものです。一日一日をしっかりと生きて立派に成長してほしい、そのために、学校でしっかりと学んでほしいと願って、『将就小学校』と名前を付けられました。皆さんも、一日一日をしっかりと生きて、この荻生小学校の伝統と歴史を受け継いでいきましょう。

(創校記念式の話より一部抜粋)

9 月 20 日の創校記念式の後、現在の校舎の写真と昔の木造の校舎の写真(昭和 34 年、昭和 48 年)を校長室前に展示し、子供たちに公開しました。「本当だ。グラウンドの中に古い建物がある。公民館かな。」「昔の写真には、ランチルームもプールもない。」「学校の周りは、田んぼばかり。道路も変わっている。」など、休み時間に見にきた子供たちは、口々に気付いたことを話してくれました。鉄筋コンクリートで 3 階建ての現在の校舎で学習することが当たり前となっている子供たちですが、木造ながらも立派なたたずまいである旧校舎の在り様を見て、荻生小学校の長い歴史に思いを馳せることができました。

さて、今年度もあと半年となり、どの学年の学習も充実の時を迎えております。5・6 年は、10 月 26 日にある黒部市小学校音楽会に向けて、日々合奏練習に取り組んでいます。『荻生小唄』のアレンジも含め、大久保利奈先生にご指導いただいております。

先日、4～6 年が八幡社にて伝統の「小天狗の舞」を披露しました。その際には、松島茂男さんを始めとする地域の方々にご指導いただき、3 日間練習しました。踊りの手さばき、足さばき、掛け声など、子供たちは教えていただいたことに意欲的に取り組んでいましたので、巡回先の公民館等においても見事な踊りを披露したことでしょう。

そのほか、八幡社の清掃活動(6 年)、バケツ稲の収穫、脱穀(5 年)、黒部市ふれあい交流館「あこや〜の」での宿泊学習(4 年)、スーパーマーケットの見学(3 年)、ザリガニ釣りとその世話(2 年)、黒部市美術館出前授業(1 年)など、各学年に応じた体験活動に取り組みました。

全校での取組として、10 月 15 日から 22 日まで、「さわやかあいさつ運動」を実施しています。朝 7 時 35 分から学校正門前にて、荻生自治振興会長さんや民生委員の方々にもおいでいただき、各学年ごとに毎日行います。いつもより早く登校することになりますが、子供たちは張り切ってあいさつ運動に取り組んでいます。

今後も、地域との連携を図り、充実した学習をすすめていきたいと思っております。

保護者アンケート 自由記述まとめ

1 学期に実施しました保護者アンケートで寄せられたご意見を記載します。

紙面の都合上、皆様のご意見の意図を変えないよう表現を変更したり、重複したものをまとめたりしています。ご了承ください。【低 中 高】と学年を記しています。同年代のお子さんをお持ちの保護者のご意見も参考にいただければと思います。

【○…よい面・成果 ▲…課題 ★…対策、希望】

1 やさしく（温かい人間関係づくり、家族のふれあい）

友達との関わり方・人間関係について

○いろいろな学年との関わりがあり、「〇年の〇〇君、〇〇ちゃんと仲良くなったよ。」と喜んで話してくれる。【低】

○給食や掃除の時間だけでなく、休憩時間等も他学年の子供と遊んだり話したりする時間が多くあるようだ。本当に毎日楽しそうなので、親も微笑ましく感じている。いつか授業参観等で他学年交流も見せていただけると嬉しい。【低】

○先生が優しく温かいので安心して登校できている。ありがとうございます。【低】

【低】

○上級生のお兄さん、お姉さんたちに休み時間、たくさん遊んでもらって嬉しかったとよく伝えてくれる。【低】

▲人間関係がよくない。いじめをふせいでほしい。【低】

★他学年との交流を通じて思いやりの心を学んでほしい。また、人には長所、短所があり、特に短所も認め合える子供たちになってほしい。【高】



縦割り活動・学校での取組について

○全学年が一緒にランチルームで食事することで、学年関係なく仲よくなるきっかけとなっているみたいでいいと思う。【低】

○縦割り給食では、違う学年の子供だけではなく、いろいろな先生方と関われることも刺激になっているみたいだ。【中】

○年下の子供には、少しだけ優しくできるようになったように感じるので、縦割り教育のおかげかと思う。【中】

○縦割り給食で高学年、低学年と仲よくなったり、苦手なものを高学年の子供たちに食べてもらったり、自分が上になったとき、下の学年の子供たちの面倒を見たりして刺激をもらったり、優しさをもらったりと、とてもよい体験だと思う。【中】

○他の学年との触れ合いができて同じ学校の子供たちの名前等、みんなが知っていてよいと思う。【高】

○下の学年と活動する機会があり、優しい心が育ってきていると思う。上学年としての自覚が出てきた。【高】

○学年に関係なく関わりをもって生活できることは相手のことを考えて行動することを（同学年だけの生活よりも）意識できるようになると思うのでよい。【高】

○▲給食や縦割り活動などで、上級生が下級生の面倒を見るということが自然にできていて学年を越えて仲がよいのは、小さな学校の利点だと思う。一方で下の子供たちの上の子供への言葉遣いなど少し気になる部分もある。【高】

【高】

学校の諸活動について

○体験活動は、本人もすごく楽しみにしていて、得るものも大きかったようでよかった。【低】

○体験活動はいつも楽しみにしていて、新しく学んだことを家でもいろいろと教えてくれる。これからも少しでも多く体験活動を取り入れて、たくさんのことを学んでほしい。【中】

○委員会活動によって上級生の意識が強くなり、責任感や自信が付いたようだ。【高】

○家庭科の授業をきっかけに自発的に手伝うようになり、習った調理を家で作ってくれる。[高]

○おたよりでいろいろな情報が分かるので助かる。[中]

○町探検はとても楽しんでいる。身近な場所で知らないことも多く、親も勉強になる。[低]

★立山登山、スキー練習会の見直し、夏休みプール利用制限の見直し、校内水泳記録会日程の見直し（全校1日で行うのではなく、今まで通りの2日間に分けるやり方にする。そして、タイムスケジュールを明確にする）[低]

挨拶について

○挨拶は苦手なようだが、挨拶運動があるおかげか、少しずつは習慣化してきているように見受けられる。[中]

○4A運動を行うことにより、周囲の人にも挨拶ができるようになったと感じる。また、フレンド集会等、人と触れ合うことで学ぶ部分が養われとてもよいと思う。今後もぜひ続けてほしい。[中]

○誰にでも挨拶ができるようになっていく。[中]

○挨拶を元気にしてくれるのがよい。[高]

▲「おはよう」と声をかけても返事をしない子供が多い気がする。挨拶ぐらいは、きちんとできてほしい。[低]

★「朝のあいさつ運動」高学年はもう少し増やしてもいいのでは。[高]



言葉遣いについて

○相手の気持ちを汲み取って会話できるようになったと思う。ぽかぽか言葉・ちくちく言葉を意識している。[中]

○「ありがとう」「大丈夫」など、すぐに言葉が出てくるところがよい。[高]

▲日々の学校生活での言葉遣いに気を付けてもらいたい。（教員・児童全員）[低]

▲時々驚くほど汚い言葉を口にするのがあり、友達同士でどんな言葉遣いをしているのだろうか心配に思うことがある。「クソー」「～死ね」「ふざけんな」等、あまり家庭で日常使うような言葉ではないのでびっくりすることがある。[低]

▲低学年でも言葉遣いが悪く大人から見ても怖く感じる子供がいる。全学年でもっと全員がぽかぽか言葉を話せるよう、家でも学校でも指導を強化した方がいいと思う。[低]

▲親には反抗的な言葉遣いをするのが多くなった。[中]

▲家族に対して、きつい言葉遣いや態度をとるので、人への接し方を知らせていきたい。[中]

▲言葉が強いので友達と仲よくできているのか心配だ。[高]

その他

○友達や先生方が温かく声をかけてくださるのでとてもありがたい。[中]

○「学校が大好き」といつも言っていて親としても嬉しい。[高]

○先生のお手伝いをしていたのを誉められたらしく、本人のやる気につながった。[中]

昨年度より、保護者や地域の皆様から、子供たちの挨拶がよくないという声を多く聞くようになりました。また、言葉遣いにしても乱暴な言葉やきつい言葉を使う子供がいる、というご指摘をいただいております。

学校では、本校の伝統的な取組である4A運動（あいさつ、あつまり、あとしまつ、あんぜん）を通して、自立（自律）できる子供の育成を目指し、日々の学校生活の中で機会を捉え子供たちの指導に当たっています。挨拶や言葉遣いは、円滑な人間関係を築く上では、大切なコミュニケーションの手段です。今後は、さらに児童会を中心として、挨拶運動の一層の充実を図っていきます。

2 かしくく（分かる授業づくり・家庭学習の習慣付け）

（１）学校の教育活動、分かる授業づくり

○ドリルの訂正箇所が付箋を貼ってくださっているの、家で復習場所が分かりやすい。ドリル、ノート等ちゃんとチェックして付箋がなくてもおさらいするよう家庭でもちゃんと見ます。いつもありがとうございます。

低

○分からないことがあって、質問しても個別にご指導いただいていることで、大変助かっている。今後とも苦手なところが聞きやすいよう関わっていただけるとありがたい。中

▲間違いや読めない字は、ちゃんと間違っていると子供に認めさせ、直しや理解の定着を徹底してほしい。中

▲学習の取り掛かりが遅く集中力がない。高

▲分からないところを進んで質問できる雰囲気になればと思う。周りの反応を気にしすぎて分からないところがそのままになる。高

★補習授業のようなものがあると嬉しい。できないところをほっている子供がいる。高

★下級生のお手本となるような上級生になっていける教育をしてほしい。（保育所卒園したての頃が、挨拶も行儀もすごくよい傾向）低



（２）家庭学習の習慣付け

○自学ノートは、とてもよい取組だと思う。まだ、１年生ということもあるが、させられている勉強という感じは全くなく、好きなことを好きなように、自ら進んで行っている姿がいいと思っている。低

○自学ノートや音読・計算カード等、達成するペースの早い友達からよい刺激を受けているようで、自分も頑張りたい！という気持ちで積極的に取り組んでいる。低

○家庭学習ががんばりカードで、時間を記入する欄があるため、時間を見て学習するようになり、内容も充実してきたと思う。低

○１か月ごとに宿題のスケジュールが配られるので、いつまでに何を終わらせればいいのか分かってとてもよい。でも、まだ計画的には自分でできないようなので、少しずつ身に付けていってもらえたらと思っている。中

○学習内容が難しくなってきたときがあるが、自学の宿題でページ指定があるので、本人に復習させるための理由付けの一つになって助かっている。中

○勉強の分かる子供と一緒に宿題をしたり分からないところを教えてもらったりしていると、話しているのを聞くことがあり、お互いに教えたり教えてもらったりする仲間っていいと思う。高

○家庭学習ががんばり週間があるとどれくらい頑張ったか本人も親も目に見えるのでとてもよいと思う。高

▲家庭学習や宿題への取り掛かりが悪く意欲も低いように思う。自学や宿題の意義について学校でも教えてほしい。低

▲勉強がだんだんと難しくなり、日々の復習が大事になってくる時期だが、スポ少等で時間が思うように取れなかったり、本人が疲れてやる気が出なかったりと日々の勉強の取組に悩んでいる。中

▲家庭学習は定着してきているが、７冊達成のため数をこなせばいいという思いがあり内容があまり充実していないと思う。高

▲宿題の自学やテスト勉強はほとんどやっていない。声をかけても「やった」と言うのであまりしつこく言わずに本人に任せるようにしているが、声のかけ方に悩む。高

▲自分の楽しみを優先して宿題や家庭学習は後回しになっている。高

▲家庭学習・宿題への取組や捉え方が自分に都合よくなっている気がする。特にテスト勉強はしなくてもよいと思うようで、「自学ノートをしてくる」等、具体的な指示が欲しい。高

★自学ノートの評価を冊数だけでなく、内容も重視してほしい。中

★自学ノートよりもプリントの方が親としてはいい。低学年だけ自学ノートにして上の学年はプリントなどにしてほしい。高

本校の特色でもある「自学ノート」学習は、大体の子供たちには定着していますが、一部の児童にとっては、学習する内容を見付けられなかったり、ノートのページを消化するだけで、いい加減な学習内容になったりするなどの問題点もあります。

学校では、今まで通り模範となるような学習内容が記載されたノートの写しを掲示したり、学習参観等の機会を利用して「自学ノート展」を開いたりして、子供たちの学習への意欲付けを図っていきます。そして、学習意欲の乏しい子供に対しては、子供個々の要因を探り、その児童に合った自学の取組を教師と共に考えるようにしたいと思います。

3 たくましく（心身の健康づくり・規則正しい生活リズム）

（１）心身の健康づくり

○運動も楽しんで取り組んでいると思う。毎日、何かしらの運動を学校で行っているようなので、入学してから体力もかなり付いたように思う。[低]

○わんぱくタイムの時間を利用して活動できているので、以前より体力が付いていると思う。[低]

○チャレンジするイベントが多数あり、日頃の運動不足の防止にもなっている気がする。[低]

○体力がだいぶついてきたので、家でも積極的に体を動かすようになった。[中]

○「わんぱくタイム、楽しい」と喜んでいる。[中]

○体を動かすことが好きな子供なので、授業と授業の間に大休憩をはさみ、リフレッシュできるのでいいと思う。[中]

○家庭ではあまり体を動かす機会がないので、学校でたくさん体を動かして遊んでもらえると嬉しい。[中]

○休憩時間にも先生とドッジボールなどして一緒に遊んでいただいております。「楽しかった」と話してくれる。ありがとうございます。[中]

○校内なわとび大会、運動会など、毎年頑張っている。チャレンジ3015も頑張してほしい。[中]

○チャレンジ3015の取組はとてもよい。普段なかなか体を動かす機会がないので、みんなで運動に取り組むことはよいことだと思う。[高]

○体を動かすことが好きなので、目標を達成するものがあるのでいいと思う。[高]

○▲みんなでチャレンジ3015は、体を動かすことを意識するきっかけになっていると思うが、塗り忘れてしまうことが多いと言っている。[中]

○★体を動かすことが好きでわんぱくタイムも楽しみにしているようなのでいいことだと思う。かけっこや鉄棒、球技等、苦手なことを克服できるような仕組みづくりができたのもっといいと思う。[低]

★体を動かすことが苦手なので、わんぱくタイムなどでたくさん運動してほしい。[高]

★体を動かす機会をもっと増やしていただきたい。[高]



（２）規則正しい生活リズム

○とやまゲンキッズ作戦は、食生活まで見直しできる機会だと思っている。前回と比べてよかった、悪くなったなど、親子で見直せるよい機会だと思う。[中]

▲自分で時間管理ができるようになってほしい。（親に言われなくても自ら行動し規則正しい生活リズムを身に付けてほしい）[高]

★「とやまゲンキッズ作戦」の日を週末ではなく、平日に行ってほしい。[中]



（３）その他

○「発散」「集中」できる時間がバランスよく取れていてよいと思う。[低]

○学年を問わず仲良く遊んでいるのでいいと思う。[低]

○具体的な目標を設定できて取り組める「縄跳び〇級」とかすごくよいと思う。[低]

○スポ少のバスケを頑張っています。それ以外の場面では面倒くさがって色々やりたがらないことも多いのですが、バスケは一生懸命厳しい練習に頑張っているののでうれしく思います。結果も少しずつ得られ、本人もさらに励みになっているようだ。[高]

▲夏休みの午前中のプール開放中止に反対。[低]

▲運動はよくしているが、姿勢が悪い。授業や給食時、もっと背筋を伸ばしてほしい。[高]

本校は、体を動かすことが好きな子供が多く、休み時間にグラウンドでサッカーや一輪車、遊具で遊ぶ子が多いです。また、毎週火・金曜日の大休憩に行くわんぱくタイムでは、自分のペースでランニングをしたり、ランチルームの縦割り班で上級生を中心に、長なわとびを協力してしたりするなど運動に親しむ機会が多いです。一方、運動が苦手でなかなか運動に親しめない子供もいます。励ましや声掛け等支援してまいります。

また、元気に運動するためには規則正しい生活が不可欠です。食生活、起床・就寝時刻等のチェックや見直しも併せて支援していきます。

4 その他

○通学路の安全に対して、学校・地域の方が協力して務めていただいております、とても安心しています。[低]

○残業などで帰りが遅いことが多く、一緒に夕食を食べられない。時々ある「家族での食事」に「○」を付けられないのでこの項目は消してほしい。[低]

○担任の先生ととてもよい関係を築けているようなので安心しています。ありがとうございます。[中]

▲不審者情報が多くなっているため、登下校時、大人の目が届いていない道等を通る際に気になっている。集団登校やグループでの行動をしてほしい。[低]

★プールが外から丸見えなのが前から気になっている。他の小学校では、外から見えないようガードされているのに、できれば外から見えないように対策してほしい。[中]

★いじめに関するアンケートで、もしいじめがあった場合、学校としてはどのような対応をするのか気になる。[中]

★学習参観よりもフリー参観を設けてほしい。[高]

★読書週間のときにある「子と親の読書」で親も感想を書くというのが毎年あるが、低学年だけでもいいのではないかと。[高]



保護者の皆様からいただいた貴重なご意見、思いや願い等を真摯に受け止め、全教職員で共有し、学校運営の改善に役立てていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

次年度以降の学校行事等についても、保護者の皆様のご意見を参考にしながら、子供たちの安心・安全で多様な体験活動等を考慮し、決めていきたいと考えています。第2回アンケートは、2学期末に行いますが、気になることやご意見等があれば、いつでもお気軽にお寄せください。